

第58回計量士国家試験（平成20年3月2日実施）正解番号一覧

科目名及び 問番号	環・化 (1)	環・物 (2)	環・濃 (3)	環・音 (4)	法規 (5)	管理 (6)	一・基 (7)	計・質 (8)
問 1	5	1	5	2	3	1	2	2
問 2	2	3	3	4	4	3	4	3
問 3	3	5	1	5	1	1	5	1
問 4	5	4	4	5	5	4	4	5
問 5	2	4	2	4	5	2	3	1
問 6	1	3	3	3	4	3	1	4
問 7	2	3	4	3	4	5	4	3
問 8	4	2	1	1	5	3	1	5
問 9	2	5	5	5	3	1	3	3
問 10	4	2	5	4	1	4	4	2
問 11	3	5	2	2	3	3	3	4
問 12	4	3	2	1	5	4	2	1
問 13	4	1	5	2	2	3	2	5
問 14	4	3	3	3	2	1	1	2
問 15	3	4	3	1	4	4	5	4
問 16	3	2	5	3	3	3	2	4
問 17	2	3	—	4	4	3	4	4
問 18	4	4	3	4	5	4	5	5
問 19	5	4	2	1	2	5	5	5
問 20	3	5	1	2	5	3	1	5
問 21	4	4	4	2	3	4	4	3
問 22	5	5	4	3	5	1	2	4
問 23	2	5	1	5	2	1	1	1
問 24	3	3	4	5	4	4	5	5
問 25	3	2	5	4	1	5	3	3

○環・濃の試験問題問17について、出題ミスがございましたので全員を正解とします。  
詳細については次ページをご覧ください。

「化学分析概論及び濃度の計量」問17について

問17 次の分析対象成分と分析機器との組合せの中から、誤っているものを一つ選べ。

	分析対象成分	分析機器
1	排ガス中塩化水素	赤外線分析計
2	排水中ダイオキシン類	ガスクロマトグラフ質量分析計
3	排水中水銀	原子吸光光度計
4	排ガス中窒素酸化物	吸光光度計
5	排ガス中カドミウム	I C P 発光分光分析計

「JIS K 0107 排ガス中の塩化水素分析方法」では赤外線分析計を利用する手法は採用されておらず、我が国における排ガス計測現場での塩化水素測定に通常、赤外線分析が使われていないため、選択肢1を正解とする予定でしたが、塩化水素の自動測定計として外国では使用例があり、原理的にも誤りとは言えないものでありました。このため、本問については正解がないこととなりました。